

内藤きんじの市政報告 第60号

2016年2月10日

発行責任者： 館山市議会議員（日本共産党） 内藤欽次

連絡先 館山市八幡 291 電話&Fax 0470-22-8486



2015年12月市議会の報告を致します

1 富崎地区避難道路の改修は、市の予算で早く

<質問>①富崎地区の布良港から布良崎神社への避難道路の一部破損について、地元住民の要請を受けて修理要請したところ、市は来年度予算で検討したいとした上で、現場には応急的な囲いをしたようだが、実際にはどういう処置をしたのか。②市指定の避難道路の保全、維持、管理などについて基本的認識はどのようなものか。

<市長の回答>①について、布良地区の避難道路である市道 6035 号線は道路の石積み擁壁の老朽化により、路肩の一部が破損している。既に一部の区間の通行を規制して安全対策を行っているが、簡易的な応急工事では通行の安全性が確保できないため、擁壁を含めた道路整備を考えていく。②について、館山市には市が指定した避難道路はなく、各地区の避難道路は各自主防災会がみずから考えて決めた道路である。整備が必要となった場合には、危険度や優先度を総合的に勘案して対応していくが、管理については市道なら市が、私道なら個人が管理する。

<再質問>避難道路の破損箇所は、囲いをして危険を回避したようだが、地元住民からは自転車で上がれなくなる、鉄パイプで怪我をしたなどの苦情が寄せられている。安全対策上、一部の通行止めはやむを得なかつたらうが、応急処置であっても地元住民の声を聞き、住民が納得する必要がある。

<市の回答>布良の道路の修復は、次年度の予算の中で検討する。

私の主張 震災の年2011年に視察に行った沼津市に確認したところ、避難道路は市が指定・管理しているということでした。富崎地区の破損した道路も、現実に避難訓練で使われており、自主防災会だけに任せるのではなく、市が責任をもって指定し、管理するものではないでしょうか。過去の震災の教訓を生かし、市民要求に耳を傾け、先進的に取り組んでいる他市に学ぶ必要があると思います。いずれにしても安全な避難道路改修を早急に進めてほしいと思います。



2 広域ごみ処理場の建設問題にかかわって

<質問>市は、出野尾のごみ処理施設建設の際、将来の老朽化を見越して、別途そのための土地を購入した事実はあるか。

<市長の回答>現在の館山市清掃センターを建設する際に、将来の施設の建てかえを想定し、あわせてそのための用地を取得している。

<再質問>館山市清掃センターの老朽化、建てかえを想定して用地を取得しているということであれば、それを踏まえた将来のごみ施設方針計画もあると思うが、それはどういうものか。またその用地購入代金はいくらだったのか。

<市の回答>昭和54年に現在の施設を建設したが、その時は広域化で施設をつくっていこうという想定はなかった。また当時の購入代金は、13万平方メートルで3億7000万円。現在サッカー場、太陽光発電で利用している。

私の主張 広域化による大規模施設建設は、一部の住民に負担がしわ寄せされ、環境問題にも広範囲な悪影響を及ぼします。市税で建設予定地を購入しておき、今度は維持管理費を理由に広域施設建設（費用は200億円超）するやり方は、住民は納得できません。今後の人口減少やごみ処理方法の改善によるごみの更なる減量化などを勘案した計画の全面的な見直しが必要です。なお、入会権に関係し、建設用地の取得が困難になったという新たな問題も起こっています。

3 防犯灯の維持管理費は市が負担すべきではないか。LED化は？

<質問>①防犯灯の数と維持管理費について、その後の調査結果はどうだったか。区・町内会費を圧迫している防犯灯の維持管理費は市の負担とすべきではないか。

②防犯灯のESCO事業によるLED化を具体的に検討すべきではないか。

<市長の回答>館山市町内会連合協議会が155町内会に対して防犯灯の数および年間の電気代や修理費用を含めた維持管理費の調査を行った結果は、以下のとおり。各町内会が管理する防犯灯数は5,073灯。2014（平成26）年度の維持管理費は約2,690万円。内訳は電気代が約2,070万円、修繕費が約620万円となっている。防犯灯の電気料金や維持管理費が町内会の大きな負担になっていること、行政が負担をとという要望があることは承知しており、その負担を軽減する方策を現在検討中だ。現時点ではESCO事業の活用は考えていないが、防犯灯のLED化については引き続き検討していく。

<再質問>大多喜町では10年間のリース方式で国の援助を活用し、町内1,300全ての防犯灯をLED化し、管理を全部一括してやっている。流山市でも、住民の強い要求が議会で取り上げられ、来年から、市が負担することになった。館山市では豊房地区から陳情・要望が、八幡連合区からは請願が出されている。世帯（人口）の減少により、区の収入が少なくなり、住民の負担が増える一方だ。半世紀の間各町内会が負担してきた事実を考えるべきだ。

<市の回答> LED化すると電気代は、ほぼ半額になるだろうと見込まれているが、それでも市が行うとすれば 1000 万円の電気代について新たな支出が出てくる。税金で毎年これを支出するという形になるので、限られた市の収入の中で財政状況も当然考慮すべきものと思っており、市としてもさまざまな行政ニーズがある中で大きな判断になるので、慎重に検討しているところだ。

私の主張 八幡連合区からの請願は、総務委員会では否決されましたが、本会議では多数決により継続審議となりました。今後は、各地域でもこの問題について、町内会での話し合いを進め、市に働きかけていきましょう。

4 木更津駐屯地の日米オスプレイの整備拠点化は極めて危険

<質問> 2015年11月5日付で公表されている防衛装備庁の木更津駐屯地における日米オスプレイの共通整備基盤についての書面の中で、試験飛行の区域は米軍も含め、東京湾南部または相模湾の上空となっている。すなわち房総沖も対象となっていることを承知しているか。

<市長の回答> 陸上自衛隊木更津駐屯地の CH-47 ヘリコプターの試験飛行には東京湾南部または相模湾の上空が使用されていることから、防衛省が米軍に対しても同じ区域の試験飛行を行うよう要請していることを承知している。

<再質問> 木更津駐屯地を日米オスプレイの共通整備基盤の設置場所とし、東京湾上空を飛ばす理由の一つは「滑走路が海から続いている、市街地の上空をなるべく飛ばないなどという立地条件、沖縄普天間基地の負担軽減」などということだが、戦後 70 年も経過して、なお、アメリカが日本の基地を利用していること自体が異常と言わざるを得ない。しかも、米軍が日本の基地を利用していることは、日本のテロの新たな目標となり、今後さらに危険な状況を生み出していく危険がある。館山市長として何があっても館山市民を守るという信念があるなら、政府の方針に対して何か意見を言うべきだと思うがいかがか。

<市の回答> この件については、防衛装備庁から昨年 11 月に日米オスプレイの共通整備基盤についてということで文書が出ている。オスプレイの飛行ルートについては、地図で木更津駐屯地上空の周回ルートが示されている。試験飛行の区域については、東京湾南部または相模湾上空を使用することを要請するペーパーが出ている。これについては、木更津市と千葉県がともに北関東防衛局長に安全性などについて市民への説明を要請している。周辺市町としては必要に応じて同じような要請をすべきかどうか判断し対応していきたい。

<再質問> ヘリコプターと固定翼飛行機の性能をあわせ持ち、上空でプロペラの角度を変えるオスプレイは、かねてから機体構造上の欠陥や操縦技量の難しさが指摘されている。度重なる事故の原因が究明されないまま、根拠のない安全神話によってオスプレイが日本の上空を飛び回することは断じて許せない。事故が起きる前からの対応が求められる事案だからこそ、各自治体の首長の勇断が求められている。常に市民の安全を守ると宣言している館山市長としての態度が求められると思うが、いかがか。

<市長の回答> 館山市上空へ飛ぶとか、館山基地を使うとかそういう問題ではないということで考えている。ただ、事故があったということも把握しているが、今公室長が答えたとおり、今色々な情報を集めている。

私の主張 埼玉大学講師の吉沢弘志氏（パトリオットミサイルはいらない！習志野基地実行委員会代表）は「今は整備拠点だというのが、木更津基地が東日本におけるオスプレイの訓練拠点になってもおかしくない」と話しています。極めて危険な状況になる恐れがあり、日本共産党としては引き続き国に配備撤回を要求すると共に、今後も市の対応を追求していきます。



2016年新春 戦争法(安保法制)廃止! 野党は共闘!

浅野ふみ子 (日本共産党県女性部長) を囲む

つどいのご案内

日時: 2月20日(土) 13時30分~16時頃

会場: 南房総市・みよし交流館(南房総市千代4)

道の駅「三芳村」^{ひな}鄙の里 から北へ約1kmを東に入る
入場無料(どなたでもお気軽にご参加ください)